

日本喉頭科学会

「加齢性声帯萎縮症の診断基準」についてのパブリックコメント募集のお知らせ

日本喉頭科学会「加齢性声帯萎縮症の診断基準 ワーキンググループ」では、「加齢性声帯萎縮症の診断基準」の作成作業を行っております。

我が国における高齢者の割合は今後増加することが確実であり、それに伴い声帯が加齢性変化を起こし萎縮し、加齢性声帯萎縮症は今後増加すると考えられます。しかし、2023年の時点で、日本及び世界で加齢性声帯萎縮症の診断基準は定まっていません。我々、日本喉頭科学会「加齢性声帯萎縮症の診断基準 ワーキンググループ」は、加齢性声帯萎縮症による喉頭機能障害を患う患者様は増加すると考え診断基準の作成に着手致しました。そのため、質の担保と作業過程の透明化を図るためパブリックコメントの募集を行い、一般臨床家にも理解しやすい内容とすることで広い普及を目指しております。

2023年5月16日に日本喉頭科学会「加齢性声帯萎縮症の診断基準 ワーキンググループ」メンバーにおいてミーティングが行われ、下記の診断基準が提案されました。

▼加齢性声帯萎縮症 診断基準(案):

- ・加齢変化により声帯萎縮を認める
- ・ストロボ検査にて閉鎖期を認めないもの

上記を満たし、他の声帯疾患を除外したものとする。

以上 で 加齢性声帯萎縮症の診断基準とする。

ここに、診断基準(削除)を公開し、下記要領でパブリックコメントを募集致しますので、ご意見をお寄せください。大変ご多忙と存じますが、何卒宜しくお願い致します。

▼募集期間

~~2023年5月29日(月)から6月12日(月)【必着】~~

⇒終了致しました。

▼ご意見、情報の提出方法

- (1)パブリックコメントの提出は 以下の google form からお願い致します。
- (2)ご意見を頂く方の過去 3 年間の COI を開示ください。(ご意見いただく領域のみで結構です。

(3)無記名、COI 開示無しでも受け付けますが、記名、COI 開示のコメントを重要視致します。

(4)頂いた御意見に対する個々の回答は致しかねます。ご了承ください。

(5)頂いた御意見を真摯に検討いたします。実際に、加齢性声帯萎縮症の診断基準に反映するか否かは、加齢性声帯萎縮症の診断基準 ワーキンググループの討議で判断致します。

(7)パブリックコメントの内容は公表させて頂く場合があります。

(8)本加齢性声帯萎縮症の診断基準 案の著作権は「加齢性声帯萎縮症の診断基準 ワーキンググループ」(日本喉頭科学会)が保有いたします。

(9)本加齢性声帯萎縮症の診断基準 案は作成過程のものであり、「公表された著作物」には該当しません。いかなる形式、手段によっても転載、引用を許可致しません。

▼提出先

日本喉頭科学会 事務局

Google form

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe5tRszpH1ZLWCTjOU_oHiq8SVDc3rkU4HmtyS=iHy-LEoqYg/viewform?usp=pp_url

⇒終了致しました。

なお、当学会 HP の下記ページにてのご案内をしております。

<http://www.larynx.jp/index.html>

日本喉頭科学会
加齢性声帯萎縮症の診断基準 ワーキンググループ

委員長: 渡邊雄介

委員(50音順)

折館伸彦 (日本喉頭科学会 理事長)

金澤文治

佐野大佑

楯谷一郎

中村一博

長谷川智宏 (加齢性声帯萎縮症の診断基準 ワーキンググループ 事務局)

平野滋

松島康二

松崎洋海

日本喉頭科学会

〒830-0039

福岡県久留米市花畑2丁目 11-11 NTビル 3F

有限会社 もろふじ印刷内

TEL, FAX 0942-36-2478